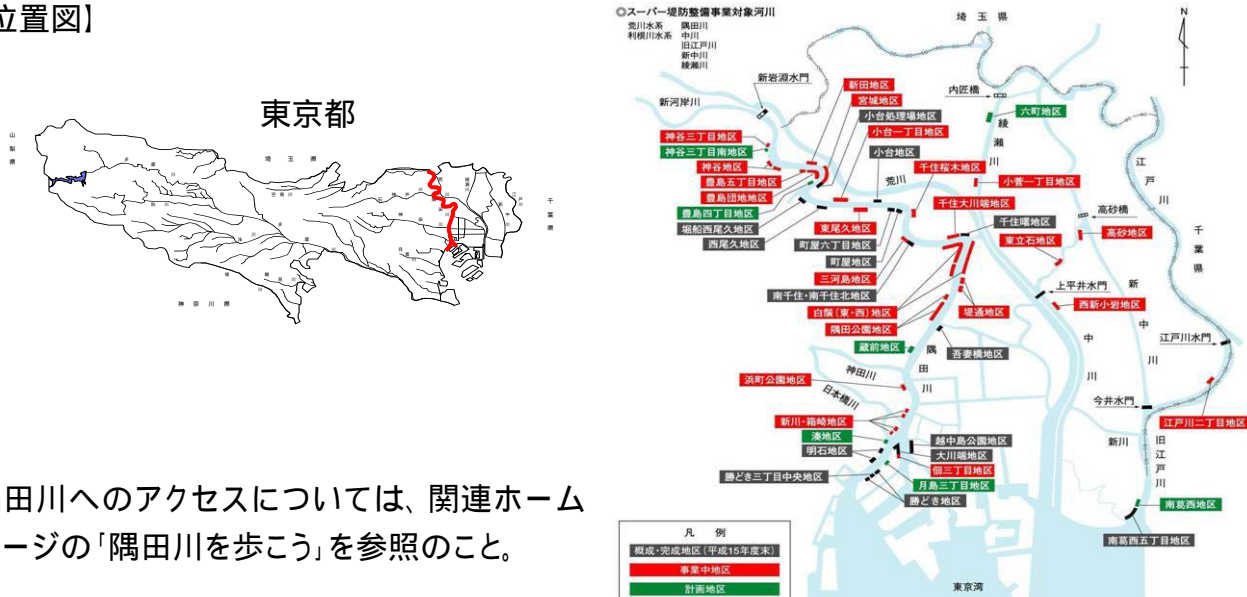


観光社会資本の事例

| テーマ | 安全でうるおいのある水辺の再生～隅田川～ | |
|---|---|---|
| 【施設の状況写真】 | | |
|  |  |  |
| <p>大川端地区 工場跡地の再開発に合わせてスーパー堤防を実施</p> | <p>明石地区 背後地の病院や区立公園と連携してスーパー堤防を実施</p> | <p>駒形橋下流左岸テラス 防潮堤の堤外地側に、環境へ配慮したテラスを整備</p> |
| <p>隅田川では、これまでの高潮防潮堤から、背後地のまちづくり等と連携し、スーパー堤防等整備やテラス整備を実施することにより、大地震にも安全かつうるおいある水辺環境の再生を図っている。</p> | | |
| 【施設の利用写真】 | | |
|  |  |  |
| <p>早慶対校レガッタ 歴史があり、毎年浅草の春の風物詩として親しまれている。</p> | <p>隅田川花火大会 昔は川開きを記念して開催されていた由緒ある花火大会</p> | <p>隅田川スタンプラリー 地元市民団体が主導となって実施し、好評を博している。</p> |
| 【観光資源としての利用状況】 | | |
| <p>スーパー堤防等整備やテラス整備により、水辺に人々が近づけるようになり、水質の改善と伴に歴史・文化のあるイベントの復活や新たなテラスの利用が図られるようになった。</p> | | |
| <p>平成17年で100周年の節目にあたる「早慶対校レガッタ」では隅田川両岸から観客約2万人がレースを見守る。また、江戸時代から続く東京で最も歴史のある「隅田川花火大会」は、例年90万人以上を動員し、隅田川の夏の夜空を彩っている。</p> | | |
| <p>さらに、テラスを利用して市民団体が主催する「隅田川スタンプラリー」では、100名前後の人々が水辺の散策を楽しみながら参加している。</p> | | |
| <p>このほかにも、ドラマやコマーシャルの撮影等に毎年200件近い利用がある。</p> | | |

| | |
|---|----------------------|
| テーマ | 安全でうるおいのある水辺の再生～隅田川～ |
| <p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 隅田川</p> <p>所在地 隅田川沿川区(中央・墨田・台東・江東・荒川・足立・北)</p> <p>事業名 スーパー堤防整備事業、緩傾斜型堤防整備事業、テラス整備事業</p> <p>事業主体 東京都(一部の修景工事は沿川地元区が主体として整備)</p> <p>事業期間 昭和55年から</p> | |
| <p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>東京の東部低地帯は、軟弱な地盤で構成されているうえ、明治以降の工業化による地下水利用等による地盤沈下によって、高潮、洪水、地震等の自然災害に極めて弱い地域となった。</p> <p>このため、昭和38年から我が国史上最大の台風である伊勢湾台風(昭和34年9月名古屋地方)の高潮に対応する防潮堤や護岸を緊急的に整備してきた。</p> <p>このなかで、隅田川の防潮堤は昭和50年にはほぼ完成し、一定の治水効果を発揮したが、通称「カミソリ堤防」と呼ばれる特殊な堤防形態は、結果として水辺から人々を遠ざけてしまった。また、コンクリートによる堤防は、大地震への補強の必要性や被災した際の復旧に時間がかかる等の弱点があった。</p> <p>このため、スーパー堤防等整備事業やテラス整備事業の実施により、土による傾斜の緩やかな堤防への改修やテラス状の耐震対策を施すことで、大地震にも安全かつうるおいある水辺環境の再生を図っている。</p> | |
| <p>【位置図】</p>  <p>隅田川へのアクセスについては、関連ホームページの「隅田川を歩こう」を参照のこと。</p> | |
| <p>【関連ホームページ】</p> <p>東京都建設局河川部</p> <p>「低地河川の整備」 http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/gaiyo/04.html</p> <p>「隅田川を歩こう」 http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/sumidamap/TOP.HTM</p> | |